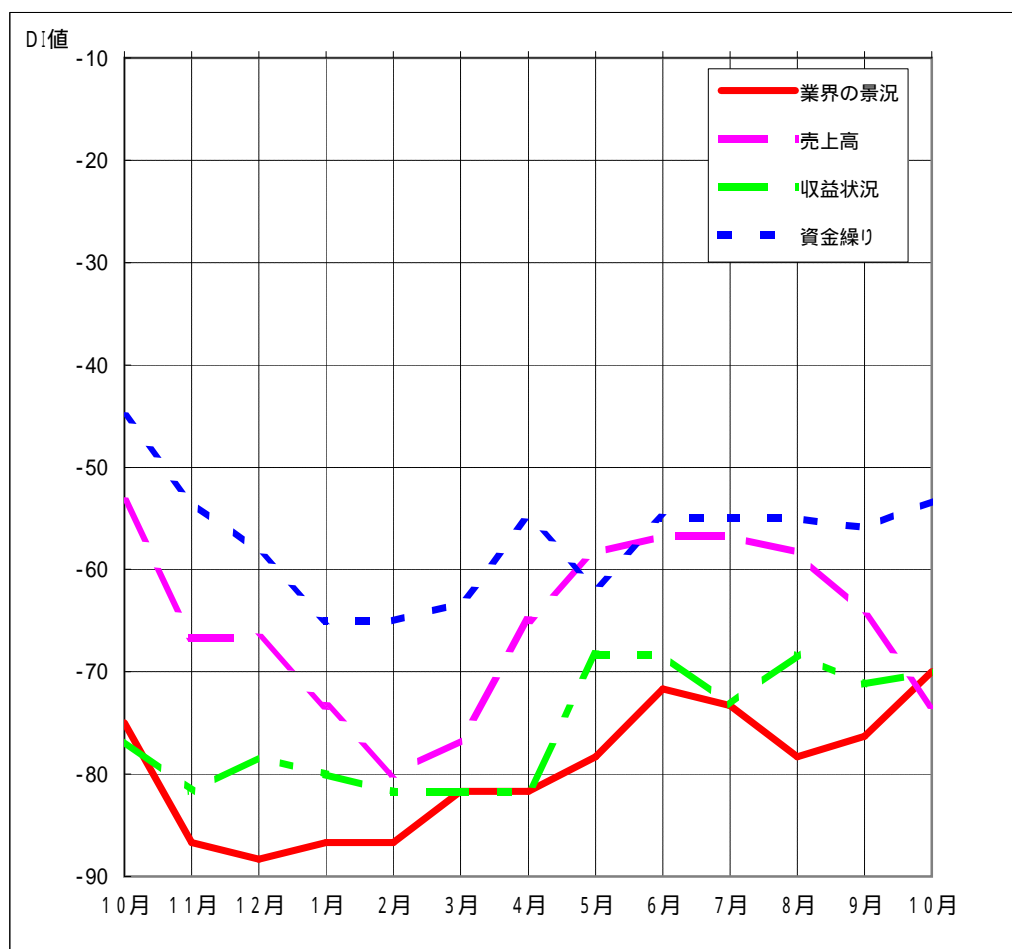


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成20年10月～平成21年10月

単位:ポイント



	H20			H21									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
業界の景況	-75.0	-86.7	-88.3	-86.7	-86.7	-81.7	-81.7	-81.7	-78.3	-71.7	-73.3	-78.3	-70.0
売上高	-53.3	-66.7	-66.7	-73.3	-80.0	-76.7	-65.0	-58.3	-56.7	-56.7	-58.3	-64.4	-73.3
収益状況	-76.7	-81.7	-78.3	-80.0	-81.7	-81.7	-81.7	-68.3	-68.3	-73.3	-68.3	-71.2	-70.0
資金繰り	-45.0	-53.3	-58.3	-65.0	-65.0	-63.3	-55.0	-61.7	-55.0	-55.0	-55.0	-55.9	-53.3

10月の各項目DI値は前年同月比で見ると、「業界の景況」DI値で5ポイント、「収益状況」DI値で6.7ポイントそれぞれ改善したが、「売上高」DI値で-20ポイント、「資金繰り」DI値で-8.3ポイントそれぞれ悪化した。前月比で見ると、「売上高」DI値が-8.9ポイント悪化した他、各項目とも改善している。「売上高」DI値に関しては、8月以降3ヶ月連続で悪化を続けている。

組合の特記事項からは、製造業、非製造業ともに厳しい状況が続いており、消費の低迷、円高の影響などにより業績の悪化が続いている企業が多い。製造業の一部では、受注の持ち直しなどの動きが見られるようであるが、企業間で格差があるようだ。本年度は9月から10月にかけて、新潟国体が開催されたが、その経済効果はまちまちのようである。